

2018年11月吉日
株式会社やずや

報道関係各位（企業情報）

「2014年熱気球世界選手権 ブラジル」で
日本人初優勝した藤田雄大選手が
今年も「2018佐賀インターナショナル
バルーンフェスタ」に参戦！



藤田選手との最初の出会いは2011年。
その後2013年から、やずやではバルーンニストの
藤田選手の応援を本格的にスタートしました。

「まだまだ日本では知られていないこの競技で
日本一、世界一になり、未来の子供たちの
夢につなげていきたい！」

当時20代前半だった藤田選手と、いくつになっても
挑戦し続け冒険心とチャレンジ精神を持った、
お父様である藤田昌彦さん。

親子で夢を追いかけている姿を目の当たりにした、弊社の会長である矢頭美世子には、

「夢を持って頑張る人を応援したい！日本一、世界一のために手助けをしたい！」
そんな熱い想いが生まれたのです。



熱気球世界選手権大会は2年に一度開催されており南米大陸初開催となった2014年には世界22カ国から58機が参加、日本からは5名のパイロットが出場する中、藤田選手が日本人で初めて優勝を飾り、世界チャンピオンとなりました。

2年後の2016年に佐賀で開催された熱気球世界選手権大会では11位でした。

朝靄の中、一つ、また一つと大空に吸い込まれるように飛び立ち、徐々に差す朝日のオレンジと、青空の絨毯の中の100機を超えるバルーンは何とも幻想的。

太陽が沈んだ後の静まり返った、深い深い、群青色の空に飛び立つバルーンは神秘的そのもの。

そんな朝と夜、別々の魅力を持つ雄大で、堂々たるたたまいのバルーンとは真逆に、機体の中ではバーナーを調整して上昇・下降を行うことで、風を読み、風をとらえバルーンを風に乗せるという、体力・知力を使う熱き勝負が行われています。

スカイスポーツとしての熱気球は、日本ではまだまだマイナーなスポーツ競技ですがやずやでは世界チャンピオンとなった藤田雄大選手の活動を引き続き支援し、同時に、子供たちをはじめ多くの方に「夢を持つ、夢と生きること」を伝えていきたいと考えています。

～藤田雄大 プロフィール～

1987年生まれ。日本の熱気球競技の第一人者であり世界トップレベルの選手として活躍した父・藤田昌彦さんの姿を幼少期から見続ける。16歳で熱気球パイロットのトレーニングを始め、18歳でライセンスを取得（日本気球連盟が発行するパイロットライセンスの資格取得は18歳から）。

20歳で日本選手権に初挑戦し堂々の2位、いきなり世界に挑戦するチャンスを得る。

初めての世界選手権は2007年オーストリアで7位に入賞、帰国後の日本選手権では、30～50代の経験豊富なパイロットが活躍する競技会のなか21歳の最年少で日本一となる。

2012年アメリカで開催された熱気球世界選手権では日本人選手初の3位入賞を果たし、

2014年ブラジル熱気球世界選手権大会では日本人初優勝を飾り世界チャンピオンとなる。

2017年現在、日本ランキング2位。

2018年9月現在、世界ランキング2位。



【取材等のお問合せ先】

やずや広報担当／^{たけむら}竹村 TEL 092-526-0828（代表） <https://www.yazuya.com/>

株式会社やずや／〒815-8686 福岡市南区那の川 1-6-14